

第 50 回 放送番組審議会 議事録

令和 7 年 3 月 27 日 (木)
株式会社有明ねっこむ

■第50回 放送番組審議会

1.開催日時 令和7年3月25日(火)16時00分～

2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室

3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山 真理子
委員: 大石 教義、松崎 義和、城戸 久信
(出席計5名、欠席1名)
放送局: 永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)
(出席計3名)

4.議題 審議番組: 3月7日(金)19:00～19:30 放送
What'sUp 有明高専 生放送 15分拡大版

5.議事の内容

- 3月7日(金)19:00～19:30 放送
What'sUp 有明高専について放送局から概要を説明。

【放送局】本日、聴いていただくのは「What'sUp 有明高専 生放送 15分拡大版」です。毎年卒業の時期に合わせてFMたんと
のスタジオから生放送しています。ミキサー操作から構成
すべてを生徒さんだけで組み立てて放送しています。
それではお聴きください。

- 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて
放送局からの発言があった。内容は以下の通り。

【委員】ミキサー操作も学生さんがしているのですね。すごいです
ね。タイムキーパーも学生さんがしているのですか。

【放送局】何度もリハーサルをして、音出しのタイミングなどを練習し
てから生放送します。スタッフがスタジオに同席して、いつ
でもフォローが出来る様にしています。タイムキーパーにつ
いては、運行モニターの見方は教えますが、スタッフがキュー
出ししています。

【委員】学生さんは5年間ラジオ放送していたと言っていましたが
長い期間ラジオ放送に携わっていたのですね。

【放送局】今回の放送はこの春卒業する5年生が担当していて、学生生活の振り返りなどを話し、その中では就活で「ラジオで話している事が面接で有利になりました。」と話していました。

【委員】自己紹介はゆっくりすぎるくらいの速さで名前を言った方が良いと感じました。また、話している人が想像出来るように「身長高めの〇〇です。」とか、「ロングヘアーの〇〇です。」など、キャッチコピーの後に名前を言うとなんとなく想像が膨らむのではと感じました。

【放送局】そうですね。次回はこちらからもアドバイスするようにします。

【委員】このように学生さんの番組があるのは若いリスナーを獲得するのに良い機会になりますね。

【放送局】もっと若い世代にもラジオを身近に感じてもらえるように努めたいと思います。

6. 次回の会議 令和7年5月(日時は未定)

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和7年3月27日掲載)